

公開シンポジウム

「流域における水環境保全と持続可能な利用のための連携～里水～」

主催；広島大学大学院総合科学研究科、陸域環境研究会
後援：山陽新聞、里海づくり研究会議、高梁川流域連盟

日時；平成30年6月24日（日）13時15分～17時05分
受付：12時30分～ *ポスター掲示：12：30～17：15

会場；岡山国際交流センター 国際会議場（2F） 入場無料
岡山市北区奉還町2丁目2番1号 岡山駅西口 徒歩3分

開催要領；

水の乏しかった瀬戸内では、古くから積極的に水を利用しそのために保全してきており、「里山」や「里海」にならって、ここで「里水」と定義する。これは、国連が提唱する『持続可能な開発目標（SDGs）』の中の「健全な水利用」においても有益であろう。一方で、上流域と下流域の連携不足は、現状認識や将来像の齟齬を生み大きな課題となっている。ここでは、瀬戸内海流域の水環境の特徴や現状を理解した上で、里水論の可能性、上流-下流連携のための方策について理解を深め議論したい。

＜プログラム＞ 司会 浅野敏久（広島大学）

13:15～13:20 開会あいさつ 大久保賢治（岡山大学）

13:20～13:30 開催趣旨 小野寺真一（広島大学）

1部 講演 13:30～14:30

小野寺真一（広島大学）「流域における水環境と里水～源流-中流-下流の連鎖～」

三戸雅文（国土交通省）「河川をとりまく国の行政の今とその役割」

岡山一郎（山陽新聞）「流域連携の現状と課題」

2部 ポスター展示「個別トピックス」14:30～15:00

1)山口一裕(岡山理科大学), 2)齋藤達昭(岡山理科大学), 3)清水裕太(農研機構)
4)高橋英博(農研機構), 5)清水則雄(広島大学), 6)竹内 徹(フジタ地質)
7)近藤正美(岡山県水産研), 8)友澤裕介(広島大学), 9)齋藤光代, 10)小野寺真一
11)佐々木晶子(元 広島大学), 12)旭川流域ネットワーク(AR-NET)
13)岡山理科大学活動

3部 講演 15:00～16:20

北岡豪一（岡山理科大学）「瀬戸内海流域における水循環～雨水の起源と行方～」

齋藤光代（岡山大学）「瀬戸内海流域の水資源とその利用～地表と地下の水～」

辺尚佳（岡山県）「公共用水域の水質の動向～旭川～」

竹原和夫（AR-NET）「旭川における流域連携活動」

4部 総合討論 16:30～17:00

1部・3部パネラー（司会；小野寺真一）

17:00～17:05 おわりに 松田 治（里海づくり研究会議 理事長）

問い合わせ；広島大学大学院総合科学研究科 小野寺真一
082-424-6496 sonodera@hiroshima-u.ac.jp



岡山市旭川 撮影；大久保賢治



旭川源流の碑 撮影；友澤裕介



香川県の出水（すずい）
撮影；小野寺真一